

# 令和6年度 第1回 秋田市在宅医療・介護連携セミナー アンケート結果

開催日時：令和6年11月8日（金） 18:30～20:00

会場：秋田県J Aビル

参加者数：115人

（医師1名、歯科医師1名、薬剤師6名、看護師22名、MSW11名、介護支援専門員46名、施設相談員12名、施設長・管理者6名、包括職員9名、その他1名）

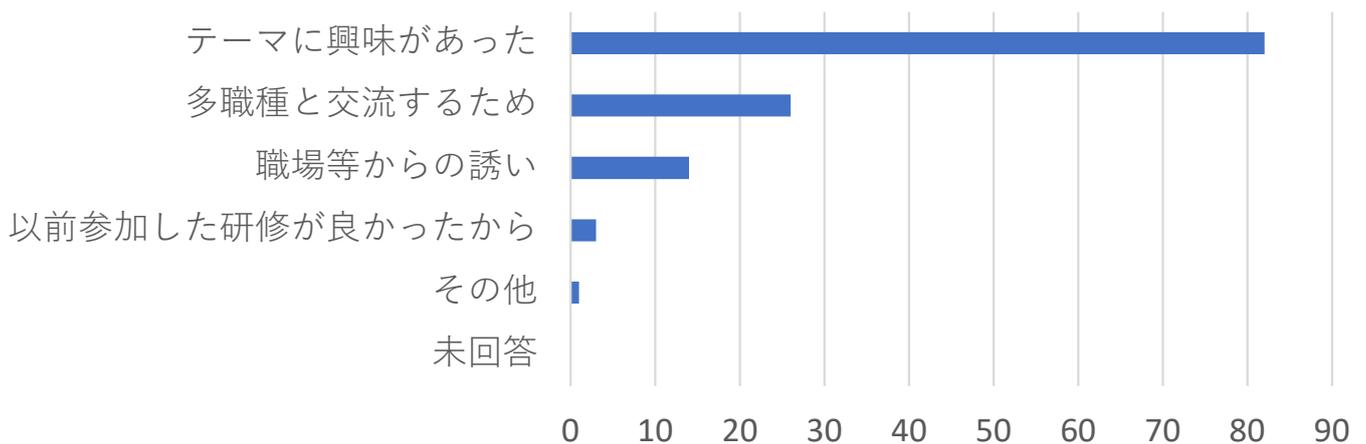
回収率：82.6%

## I 本日の研修会について

問1 本センターが開催するセミナー等への参加について

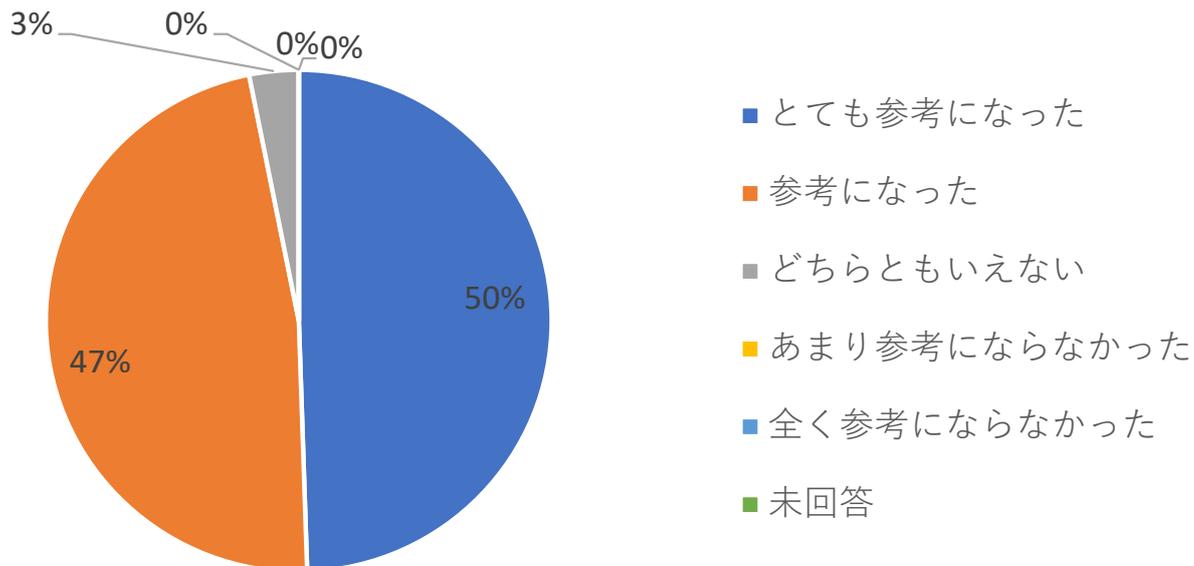


問2 本日の研修会に参加した理由

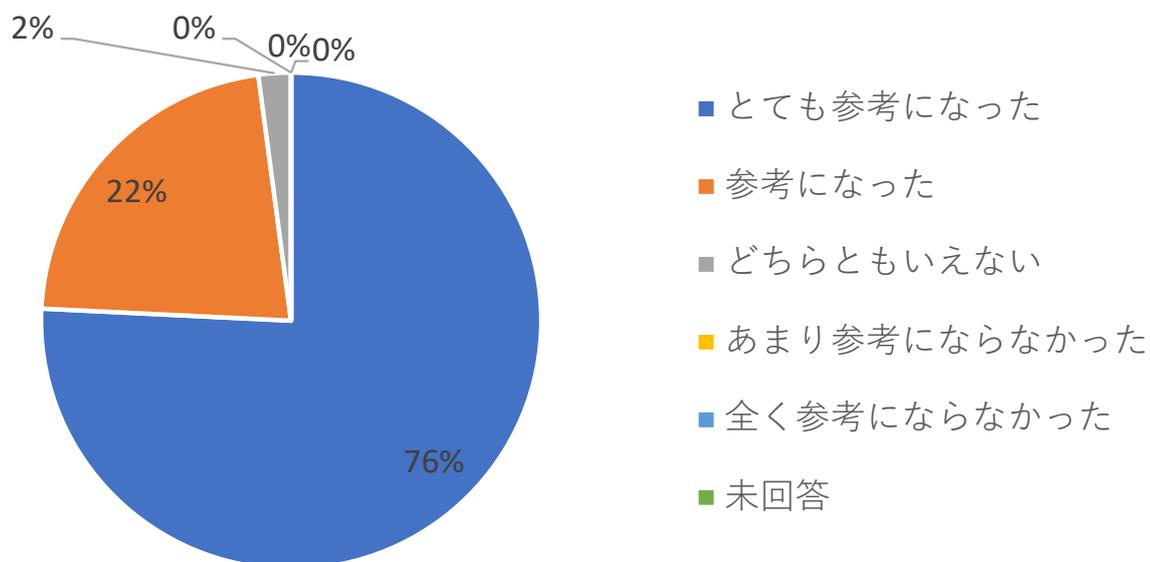


### 3. 感想

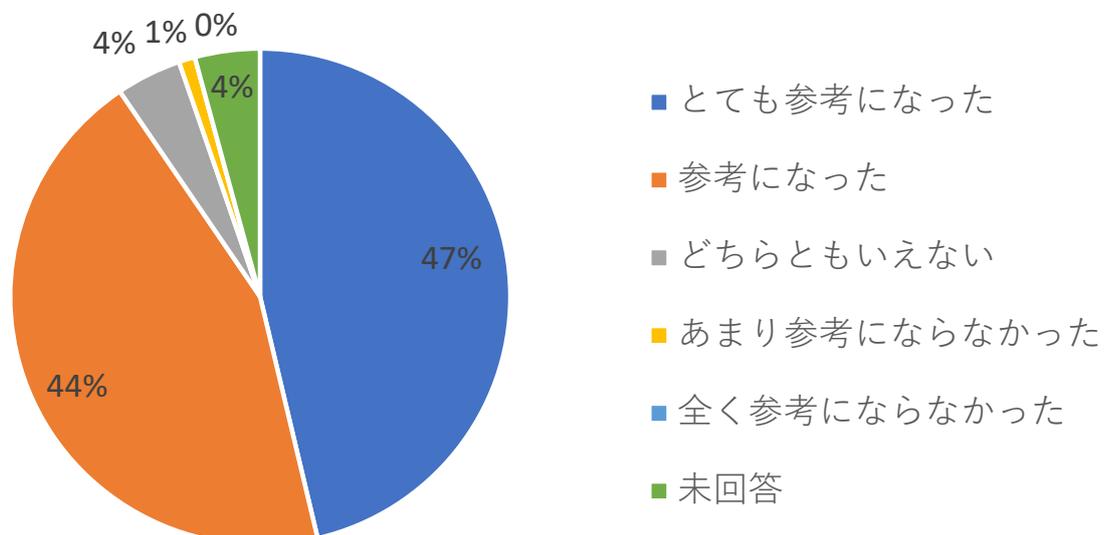
#### ア ミニレクチャー「地域における総合病院の役割」



#### イ 情報提供「各病院の体制と特徴」



#### ウ パネルディスカッション「スムーズな入退院支援に向けて」



## ア ミニレクチャー「地域における総合病院の役割」感想の理由

- ・医療制度の理解が難しい
- ・急性期病院の現状（赤字）、求められることが多くなったということを知った。
- ・二次、三次救急の病院が分かりました。
- ・安藤先生の話はいつも興味深いため。
- ・急性期病院における現状が良く分かった。（10）
- ・診療報酬、医療機関の特徴、役割を理解できた。
- ・現在の医療状況を知る機会が少ないので勉強になりました。
- ・高齢者が増えてきている中で病院の役割が大きく変化してきていることを知ることができた。
- ・病院側の“忙しさ”は理解しているつもりでしたが、思っている以上に“忙しい”ことが良くわかりました。
- ・今後考えられる社会の変化について理解を深められたため。
- ・社会情勢など全体的な流れを知ることができた。
- ・各医療機関の役割、取り組みを知ることができた。
- ・すべての病院が赤字という事実を知った。
- ・入り込んだ内容をたくさん聞くことができとても勉強になった。
- ・地域包括医療病床について初めて耳にしたので、改めて調べてみようと思いました。
- ・医療情勢が分かりやすかった。病院経営側の危機感の理由が分かった。
- ・病院ごとに異なっていることに関しては普段業務をしていては気づかなかった。
- ・役割、体制、制度の変化が分かった。
- ・地域包括医療病床への転換で、病院運営を安定させる方向性が理解できた。
- ・総合病院の役割、詳細な状況や課題などを教えていただく貴重な機会でした。
- ・人口減少、減収・・・なるほど納得です。
- ・医療の知識を高めることができた。
- ・診療報酬改定について知ることができて良かった。（3）
- ・今後の見通しが分かりやすかった。
- ・病院の現状を知りました。急性期の赤字、大変なことだと思います。
- ・安藤先生の講演、とても良かった！
- ・役割を説明されて県内状況を知ることができて大変参考になりました。
- ・病院の制度を分かりやすく解説していただき、勉強になりました。
- ・R6～の地域包括医療病床について知ることができ参考になりました。（2）
- ・現状での評価を踏まえた中、在院日数を目安に退院支援への参考になった。
- ・病院の状況が分かった。病院にも高齢化の問題が来ていると思った。
- ・急性期病院の役割、医療が分散化されており、役割の違いへの理解が深まりました。
- ・秋田市内の病院の特徴（役割）を聞いて良かったです。※県外から来た者にとっては興味深かったです！
- ・病院との関係を構築するうえでの重要な研修内容だった。
- ・施設としての役割や病院の体制について理解が深められたから
- ・医療の現状と今後の動向、病院の持つ役割を分かりやすく知れた。

## イ 情報提供「各病院の体制と特徴」

- ・聞きたかったことが聞けて良かった。
- ・各病院の退院支援の特徴を知ることになり、今後のかかわりの参考になった。
- ・各病院の特徴や専門性を知ることができた。資料は有効に使いたい。
- ・貴重な資料をいただいた。
- ・各病院の特徴を知ることができた。(12)
- ・知らなかったこともあったので、勉強になりました。
- ・各病院がケアマネや施設に求めている情報について理解できた。(3)
- ・急性期病院の実情を知ることができました。
- ・わかりやすい資料、説明で理解が深まりました。(3)
- ・在宅にかかわることになったので、入退院支援の体制や各病院の特徴を知ることができてとても参考になりました。
- ・早期からACPについて話し合っておいてもらおうと病院側としてありがたいというのはよくわかりますが、入院を機にACPについて話し合うきっかけになることもご理解いただけると、在宅、施設側もありがたいです。
- ・MSWの皆さんの大変さが伝わりました。いつもありがとうございます。
- ・連携の要点について理解できたため。
- ・改めて現状を知ることができた。明日、来週以降活用したい。
- ・それぞれの病院の共通点、異なる点を知ることができた。(3)
- ・情報提供のやり方もそれぞれ違いがあり参考になった。
- ・各病院のMSWがどういう想いで退院調整や患者、家族と関わっているか分かって良かった。
- ・他の病院はどんな入退院支援をしているのか普段気になっていたため。
- ・各病院、地域性が出ていると感じた。
- ・各病院の相談室の流れが詳しく分かった。(2)
- ・各病院のことを知ることができて、よりスムーズに対応できるようにしたいと思った。とてもためになりました。
- ・各病院の特徴、体制を詳しく知ることができ、病院の各職種の皆様の担ってらっしゃる役割、気を付けていかなければならない点を知ることができました。迅速な対応を十分気を付けていこうと改めて思いました。
- ・お互い様の対応を意識して対応していきたいと考えさせられました。
- ・よく、よく、よくわかりました。
- ・病院への連絡体制や退院時に行うことが理解できた。
- ・各病院の体制やMSWの職種の業務が分かった。(2)
- ・病院それぞれの窓口が分かり、今後連携を取る際に参考にしたい。(3)
- ・病院によって違うと改めて知った。
- ・連携室で働く方の本音が聞け、良かったです。(2)
- ・皆さん、情報をいただきありがとうございました。
- ・今までにない！！もっと知りたい。
- ・連携について再認識できました。
- ・各病院の想いが伝わりました。特に中通総合病院については本音を傾聴できて良かったです。ただ、一方的過ぎて個人的には思いもありました。参考にさせていただきたいと思いました。
- ・病院ごとにいろいろ違うと思っていたが、ほぼ同じだったとわかった。実際のことわかりやすかった。
- ・日頃良くやり取りをさせていただいていますので、入りやすく分かりやすかったです。
- ・病院のMSW、居宅、施設側、それぞれの立場の想い、役割を改めて知った。双方思いやりを持った対応を心掛けたい(患者さんを一番に)
- ・それぞれのMSWが現状で持つ、不安や気づきがあって実際業務内容を知り、今の医療現場での問題点を理解できた。
- ・このような整理された形で体制、実情を知る機会がなく、非常に有益だった。
- ・病院から地域での担当者や医療職に向けた連携の希望やポイントを知ることができた。
- ・病院の役割と施設としてのやるべきことがわかった。

## ウ パネルディスカッション「スムーズな入退院支援に向けて」

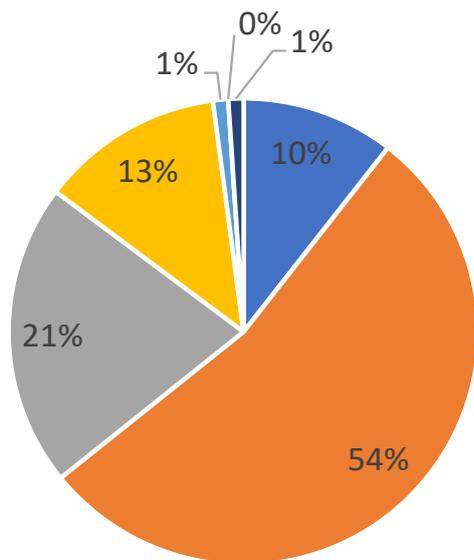
- ・聞きたかったことが聞けて良かった。(2)
- ・各病院からの感想や思いを知ることができた。
- ・コーディネーターの進め方が良かった。
- ・顔の見える関係を作ることが大事だと感じました。
- ・ピンポイントな質問があったため。
- ・入退院時の連携ポイントを理解できた。面会状況も理解できた。ICT化の話も参考になった。
- ・連絡窓口や面会等について案内していただくことができた。
- ・連絡しやすい時間などよくわかりました。
- ・各病院の特色をうまく引き出したディスカッションでした。
- ・理解が深まった。
- ・実際の取組を教えていただき参考になりました。ありがとうございました。
- ・時間が短い。もっと聞きたかった。(4)
- ・今回出席いただいた5病院様の現場での現状について理解ができたため。
- ・率直な意見を知ることができた。
- ・ACP：急に入院する人ばかりではなく外来通院を続けた流れでの入院・・・病状を知る立場としてACPを実施しておいてもらえるといいのでは？と実感した。入退院支援：皆さんがおっしゃるように、やはり顔を見て伝え合うことが大切だと思いました。言葉だけでは伝わらないことも、会って話したら分かり合えると思います。大切です。
- ・フロアからの発言をもっと多くすべきでした。
- ・質問に答えていただきありがとうございました。
- ・病院、ケアマネ、施設と働く場は違う中で、一人の患者（利用者）にそれぞれの立場、役割で関わっていることが分かって勉強になりました。
- ・MSWの想い、悩みが分かった。
- ・皆さん苦勞していると感じた。
- ・病院の相談員等の本音が聞けたと思う。今後協力できたらと思う。
- ・詳しいことを聞くことができました。
- ・顔の見える関係、また各病院様へ負担をかけないような連絡の取り方や、状態に応じて異なる働きかけ等を介護職側としてもよりおもんばかった動き方を心掛けていきたいと思います。とても貴重なご意見をお聞かせいただきまして、本当にありがとうございます。
- ・考えが明確でわかりやすかった。
- ・具体的な話ができただ。
- ・ICT化導入に関しても、コスト面の問題等があることが分かった。
- ・MSWをリスペクトしてます。
- ・MSWの意見が貴重な場でした。ありがとうございました。(2)
- ・入院中の情報共有の大切さを再認識できた。
- ・深い内容で大変良かったです。情報共有することでスムーズな退院支援となることが参考になりました。
- ・直接話が聞けて良かった。
- ・病院のやり方～と思っていたが、病院側もそう思っているということが分かった。こちらでも連携しやすいように対応していきたい。
- ・MSWの生の声、楽しかったです。
- ・ACP：患者の希望に沿った医療やケアを具体化するにあたり、各病院の担当の方の発表、とてもわかりやすかったです。本音を吐くことも大事ですね。個人的には、ご自分のHPでの役割におけるの心情を語る、特徴（現状）を伝えることも良いですが、ACPに関するテーマでしたので、少し意外な展開でした。
- ・本音を聞けたことで、こちらとしても電話しやすくなりました。
- ・イの内容を細かくする内容で、興味深い内容だった。

#### 4. 今後取り組んで欲しいテーマや内容、進め方などがあれば記入して下さい。

- ・今後も交流も含めて今回のようなセミナーは実施してほしいと思う。
- ・今回のような機会が定期的にあるとお互いの関係性につながると思いました。普段このような機会はないので。貴重な機会に参加できて良かったです。ありがとうございました。
- ・次は逆の方向で。介護側から医療機関への連携ポイント、伝えたいことさらに次は医療と介護両者で実施してほしい。資料はありがたかった。今回はどちらかといえば医療機関の現状を踏まえて動いてほしいという気持ち強い印象でした。
- ・各病院の情報提供の進め方、話し方はわかりやすかった。今後もセミナーを行ってほしい。
- ・ディスカッションがあれば、より顔の見える関係ができ良いと思いました。
- ・医療から福祉、特に在宅医療への連携について。
- ・ケアマネジャーだけでなく施設やショートステイでの話に特化したこともやってほしい。
- ・施設の空き情報をどのように連絡すると良いか知りたいと思った。MSWの皆さんも忙しいと思うので。
- ・医療、福祉間でのグループワーク。
- ・定期でやってください。
- ・ケアマネからの入院情報提供により居宅加算がありますが、その入院情報提供に書類作成が負担な面があり、加算どころではない状況があります。どのように情報提供したら一番良いのか？何の情報を提供したらよいのか？今後取り組んでほしいと思います。
- ・大人数で講義を聞くのも良いが、少人数でロールプレイや話し合いができればよいと思う。
- ・他医療機関（リハビリ病棟、精神科など）の同内容。
- ・施設でも同じような内容を聞いてみたい。
- ・そもそもそれぞれの職種がどういう仕事をしているのかを知る機会が欲しい。例えば往診や訪問歯科では何をしているのか、とかケアマネさんの1日の仕事の流れとか、です。
- ・福祉分野である包括や、居宅等から同じような話題で開催できれば良いと思います。市包括在介連絡協議会やケアマネ協を利用して。
- ・施設職員です。他施設の悩みを共有したい、聞きたいです。
- ・特にない。

## Ⅱ ACPについて

問5. ACPについて理解していますか

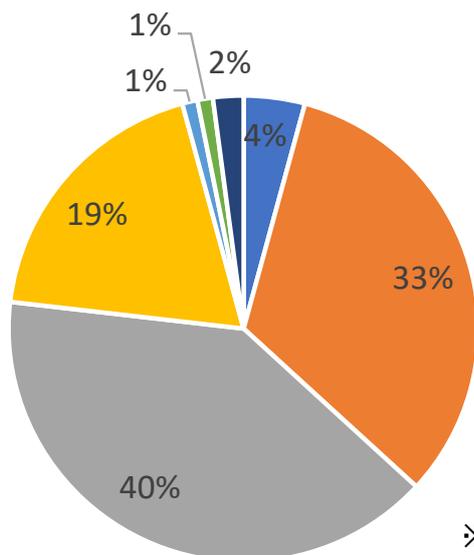


- よく理解している
- おおむね理解している
- どちらともいえない
- あまり理解していない
- 全く理解していない
- その他
- 未回答

※その他

・本日の研修で初めて知りました

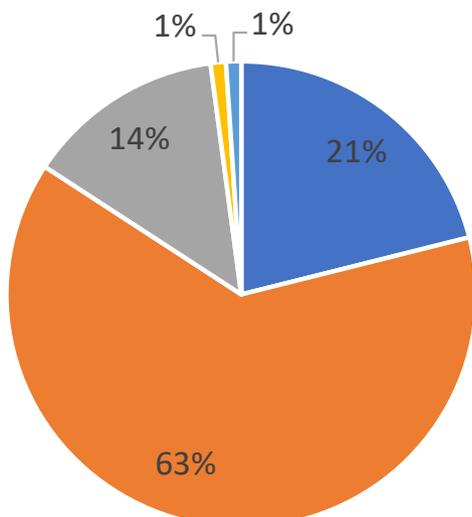
問6. 業務の中でACPを意識して患者（利用者）さんや関係者と接していますか



- 常に意識している
- おおむね意識している
- どちらともいえない
- あまり意識していない
- 全く意識していない
- その他
- 未回答

※その他：ACPを意識しなければならないケースのみ

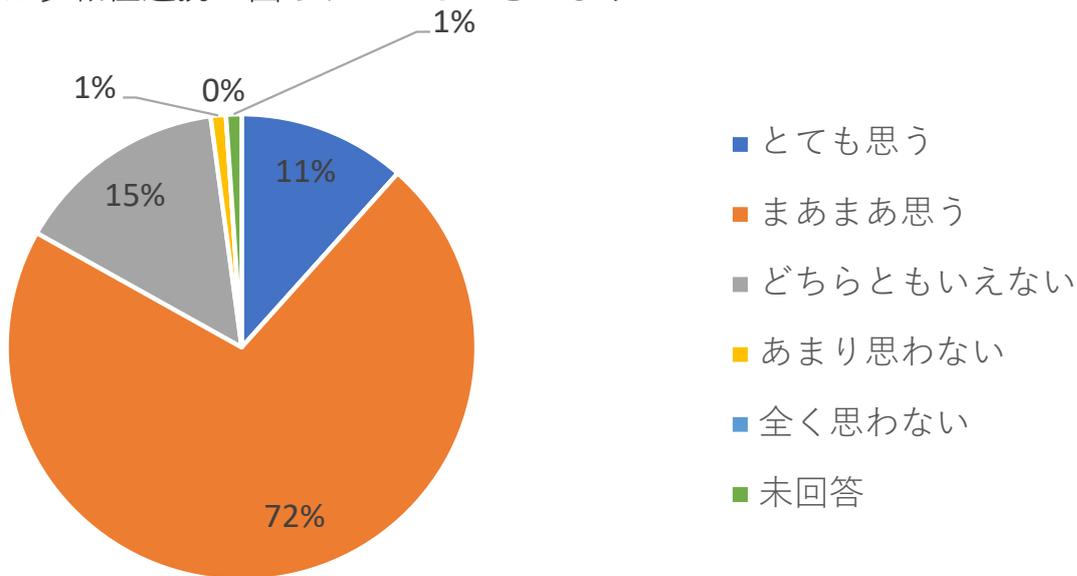
7. 人生会議（ACP）リーフレットを使用していますか



- 説明などに使ったことがある
- 見たことはあるが使ったことはない
- 見たことがない
- その他
- 未回答

### Ⅲ その他

問8. 身近では多職種連携が図られていると思いますか



問9. その他ご意見、ご感想を自由にお書きください。

- ・非常に有益な内容でした。ありがとうございました。
- ・作成に当たり大変お疲れさまでした。ありがとうございました。各病院の特徴を記した資料が大変わかりやすく、説明と同時に確認し理解ができました。人間色々、ケアマネさんも色々ですので、一方的なお考えを持つ方々がおられ、共有し、対応していくことが望ましいが、多職種連携を果たして意識しているのか不明なこともあります。ACP：患者、利用者様の思いをしっかりと聞いてご希望に沿った流れができるよう支援したい。
- ・ACPについて知っていても積極的に利用者に説明する機会がなかった。病院、CM、何より本人が困らないよう意識してかかわっていきたいと思いました。
- ・近年はケアマネと医療の連携が深くなったと感じています。スムーズな退院に向け、双方が連携することは日ごろからとても大切だと感じています。コロナ後、面会制限が緩和され、退院調整が行いやすくなっていて助かります。
- ・それぞれの病院の連携について知ることができて良かったです。
- ・入院治療が必要な方の調整を、ケアマネを通じて依頼しても直に訪看に「何月何日に入院になるので何時までに来て下さい」と言われると、忙しい業務の中ケアマネや患者などに連絡調整するのが大変です。
- ・医療側からの退院支援について詳しく理解できたように思います。日常普段からいつも接している病院について知らなかったことも多く、大変参考になりました。
- ・MSWも忙しい、ケアマネも忙しい中、連携をしっかりとっていきたいと思いました。
- ・顔の見える関係は大事なと思います。
- ・ケアマネジャーとして介護保険制度上行わなくてはならないことに縛られ過ぎ反省する点がありました。今後も相手を思いやりながらスムーズな連携を務めていければと思いました。本日はありがとうございました。
- ・今回の研修は病院側の意見を伺えて、とても参考で有意義でした。気づき、どこも同じようにしているようで違うことが知ることができて、貴重な時間、プレゼンをありがとうございました。
- ・ACP積極的にやってみます！
- ・このような機会を作ってもらい、大変良かったです。また病院、福祉との交流や情報共有できる場を作ってほしいです。
- ・ミニレクチャーではできれば実際の言葉で聞きたかった。
- ・ただでさえ病院は敷居が高いとされている中で、もっとそう感じさせるような内容があり、驚きました。

- ・ ACPを意識して、本人や家族の意向を日ごろから訪ねておくことが大事だと理解しました。そのうえで入院中に患者さんの方向性がスムーズに進むことが理解した。
- ・ HPの特徴、事情などはよくわかりましたし、地域側の態度やマナーなども見直すべき点は必要と思います。しかしこのテーマは双方向のもので地域側が感じている課題や連携のしやすさを阻んでいるものなども取り上げていただく必要があるのではないのでしょうか。HP側に合わせていくということなのかと、ちょっと残念な気持ちもします。特にパネルディスカッションのコーディネーターがHP側ばかりを見ていたのは残念で、もっとフロアを巻き込むべきだったと思います。それによって参加者ももっと満足感があったと思います。
- ・ とても貴重な研修となりました。今後参考にして取り組みたいと思います。ありがとうございました。
- ・ それぞれの職種へのリスペクトと顔の見える関係を意識して明日からの業務にあたりたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 貴重なお話をいただけてありがとうございます。日常から、将来に向けたお話を患者様ともお話していただけたらと思います。
- ・ 各専門職の本分を理解し合い、よりよい支援ができればよいと思いました。
- ・ 貴重な資料、貴重な説明をありがとうございました。
- ・ 介護と医療の連携の重要性を改めて感じさせられました。
- ・ 今後も開催してほしい。
- ・ ACPについてももう少し踏み込んで確認が必要だと感じました。
- ・ 最後のパワポも良かった。
- ・ 最期どう看取るか、看取られたいかで本人と家族の思いにずれがあることもあるので、時々ACPについてしっかり話し合っておく必要を感じたことがあります。今後はもっと意識してリーフレットの使用を考えさせてもらいます。
- ・ 病院側の本音を聞いて良かった。
- ・ とても勉強になりました。またこのような機会があれば参加したいです (2)
- ・ セミナーに参加させていただきありがとうございました。
- ・ 非常に良い研修でした。130名は多いかなと思いますので、パネリストの皆様も忙しいと思いますが分けて開催できれば良かったと思います。司会の方が資料は良く発表者の意図を汲んで誤解のないようにと話していましたが、それが参加者に良く伝われば良いと思います。文面だけでは、もう少し勉強してくださいよって感じで少なからず嫌な気持ちになる方もいると思います。文面でしか伝わらない人も居ると思うので、資料は回収したほうが無難かと思います！